



カムリウミスズメ

門川町教育研究所

ふれあい

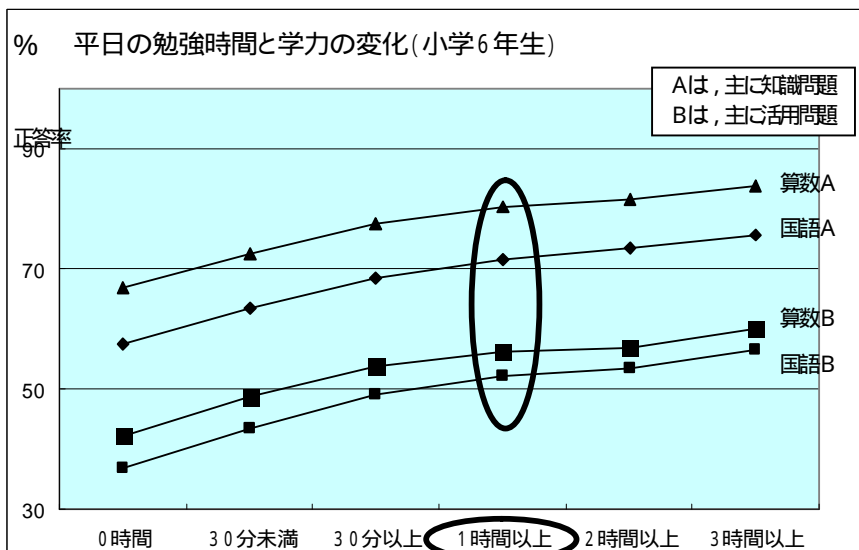
平成22年1月 NO8
発行 門川町教育研究所
所長 斉藤 義輝
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

新しい年を迎えて、いよいよ3学期が始まりました。3学期は、進級や進学のための準備の学期でもあります。この学期をどのように過ごすかで、4月からの生活が大きく変わります。

そこで今回は、門川の子どもの家庭での勉強時間がやや不足していることをふまえて、勉強時間と学力の関係、そして一日の生活の中で勉強時間をどうして増やしていけばよいか、教育研究所おすすめの工夫を紹介します。ぜひ、毎日の生活の中に取り入れ、活用してください。

勉強時間のちがいで、こんなに学力の差がつきます！

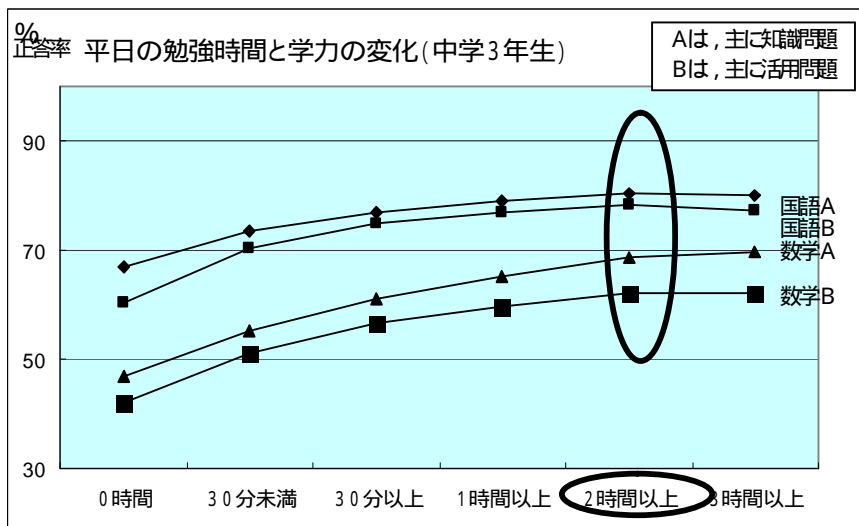
(平成21年度全国学力・学習状況調査結果から、必要な勉強時間が分かりました)



小学6年生では、1時間以上勉強するところまで正答率が大きく伸びていることがわかります。

この結果は、6年生は1時間以上勉強する必要があることを示しています。

全体を平均しても、1時間以上勉強する子どもは、1時間以下の子どものくらべて学力が、約12%高くなっています。



中学3年生では、2時間以上勉強するところまで正答率が大きく伸びていることがわかります。

この結果は、3年生は2時間以上勉強する必要があることを示しています。

全体を平均しても、2時間以上勉強する子どもは、2時間以下の子どものくらべて学力が、約10%高くなっています。

1日の生活の中で、勉強時間をつくり出す4つの工夫！



工夫1 今の勉強時間を、もう少しふやす目標を立てよう。

勉強時間を一度に2倍にすることはなかなかできませんが、10分のばすことはできます。今の勉強時間より少し長くする目標を立てて、がんばりましょう。

そうすると、やがて気持ちも体もその時間になれてきます。集中力も長続きするようになり、学力アップにつながります。

工夫2 がんばっている毎日の勉強時間を記録しよう！

カレンダーなどに、毎日の勉強時間を記録しておきましょう。そうすると、自分の勉強のしかたがわかるようになり、長く勉強できた時を思い出して、生活を見直すことができます。

また、例えば1か月の勉強時間の目標を50時間と立てて毎日記録し、目標達成をめざすということも効果的です。

工夫3 勉強を中心とする生活をつくりあげよう！

遊んでから勉強する、テレビをみてから勉強するという生活では、結局勉強の時間がなくなってしまいます。まず勉強を先にすませ、その後ほかのことをするというように、勉強を中心とする生活に切りかえましょう。

そうすると、今日は勉強ができなかった、時間が少なかったということがなくなります。

工夫4 「勉強をしない日」という例外をつくらないようにしよう！

休みの日や旅行に行った日には勉強しない、と勉強をしない特別の日をつくと、何かあると今日は勉強しないという習慣をつくることとなります。

少しきついですが、特別の日をつくらぬという「がまんをする」ことも大切です。それが勉強をがんばりぬく力を育てます。

教育研究所からのメッセージ！

全国学力調査の結果、勉強時間で学力の差がでることが分かりました。また、中学校では、まったく勉強しない場合と2時間以上勉強する場合は、20%も学力差がありました。勉強時間のめやすは、およそ小学6年では1時間、中学3年では2時間ですが、この時間を上回る勉強時間が必要です。

学校での授業とともに、家庭での勉強が学力に影響しています。門川の子どもは、勉強時間がやや少ないという結果が出ています。もう一度、家庭での勉強時間は今のままでよいのかを考えましょう。そして、家庭ぐるみでもう少し勉強時間をふやす工夫に取り組んでみましょう。



子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

教育相談室に気軽に電話をしてください。

月曜日～木曜日・・・9時00分～16時00分
金曜日・・・9時00分～12時00分

相談電話（門川町教育相談室）

63 - 1566

~~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~~